



SWIFT—gpi による外国送金のリアルタイム化テストの成功を 発表

SWIFT は NPP 基盤を利用した、オーストラリア、中国、タイ、シンガポールの銀行とのリアルタイム送金のテストに成功

シドニー、2018 年 10 月 21 日 — SWIFT は、オーストラリア、中国、タイおよびシンガポールの銀行と実施した外国送金のリアルタイム化に関する実証実験が成功裡に終了したことを発表しました。

この実験によって、相手国に gpi に加盟していない銀行がある場合でも、gpi で相手国に渡った送金はその国内でほぼ瞬時に決済されることが実証されました。

2017 年に稼働を開始した SWIFT の gpi は外国送金に関わる多くの諸問題を解決し、現在では gpi によって処理される送金の 50% が 30 分以内に、多くは秒単位で最終受取人の口座に入金されています。最速の例ではシンガポールの gpi 参加銀行からオーストラリアの gpi 参加銀行への送金で、入金までに要した時間が 9 秒となり、外国送金のリアルタイム化が既に実現されていると言って良いでしょう。

一方で複数の銀行が決済チェーンに関わっていて、最終的に受益国での決済が必要な場合はその国の決済システムの運用時の制限などから遅延が避けられない場合があります。

先進的な決済システムでは、24 時間 365 日体制で運用されていることが多いので、その場合外国送金でも秒単位での着金が可能となります。

オーストラリアの国内リアルタイム決済システムである New Payments Platform (NPP) の基盤を通じて、SWIFT はオーストラリア、中国、シンガポール、タイの銀行グループと gpi の利用によりどのように外国送金の処理時間が短縮できるかについて研究してきました。

今回の実証実験が目指したものは、gpi と国内リアルタイム決済システムが統合された場合に、通常営業時間外であっても国内決済システムへの着金が迅速に処理されるかどうかを検証するものでした。

この実験によって、SWIFT gpi は「秒単位での着金」がオーストラリアの NPP システム加盟行に対しても提供できることが確認されました。

この実証実験の概要は以下の通りです：

- 12 の参加銀行が実験に参加し、そのうちの 9 行が SWIFT gpi を使ってオーストラリアへ外国送金を実施し、オーストラリアの 3 行が NPP を通じて国内送金として処理しました。
- 実験対象となった国別のペアは中国からオーストラリア、シンガポールからオーストラリア、タイからオーストラリアの組み合わせです。
- 限りなく実際の送金に近い形での実験を目指し、制裁スクリーニング、送金の検証、流動性管理、メッセージの変換および SWIFT gpi トラッカーを利用したリアルタイムの状況更新といった包括的なテストが実施されました。
- オーストラリアの営業時間内および営業時間外での被仕向送金を試すことで運用可能時間が検証されました。
- 実験対象のうち最速の gpi 送金は中国からオーストラリアの受益者銀行に NPP 経由で送金された例で、所要時間は 18 秒でした。
- シンガポールからとタイからの同様の送金も受益者口座に 30 秒以内に入金が確認されました。
- その他の全ての送金も最終的な着金までの所要時間は 60 秒以内でした。

SWIFT アジアパシフィックの Managing Director である Eddie Haddad は次のように述べました。「これらの結果から域内外国送金のリアルタイム化の実現には 2 つの重要な条件が明らかになりました。1 つ目は、通常の営業時間外でも外国送金を処理することができるようにすること、2 つ目は SWIFT の gpi による外国送金と国内リアルタイム決済システムを統合することで数多くの金融機関に迅速な外国送金処理が提供できることです。この統合は National Australia Bank のように SWIFT gpi による被仕向外国送金を NPP のリアルタイムペイメントシステムに転送することにより実現します。

National Australia Bank Limited の Payments 部門 General Manager である Paul Franklin 氏は次のように語りました。「NAB は今回 SWIFT の外国送金のリアルタイム実証実験において重要な役割を果たしたことを誇りに思っています。我々は着金に要する時間を大幅に短縮し、受益者が秒単位で受け取ることができることを実証することが出来ました。NPP による 24 時間 365 日決済機能が伝統的な即時グロス決済の営業時間外であっても外国送金の処理に適用でき、その結果より遅くまでアジア域内の外国送金を受け付けることができることを証明出来ました。この実験の成功は各参加行の努力と顧客へのサービス向上を目指す我々の共通の願いの結果もたらされました。」

この実証実験はまずはオーストラリアの NPP 経由での決済に特化していましたが、実験を通じて得られた結果は SWIFT gpi の新たなリアルタイム外国送金サービスとして他のリアルタイム決済システムとの統合により世界中に展開されます。現在 SWIFT は複数の国内リアルタイム決済システムのオペレーターおよび規制当局と今後どのように国内システムが gpi に接続できるかという点で議論を開始しています。SWIFT gpi の基盤を再利用し、追加的な業務ルールを適用し既存慣行の業務阻害要因を取り除く一方で新たに国を跨がる基盤構築の新規投資を防ぐことを目指しています。

2017 年 1 月以降 SWIFT gpi は急速に浸透し、一日当たり 1,000 億ドルの送金に利用され、ほぼ全ての gpi 送金は 24 時間以内に、半数は 30 分以内、多くは秒単位で着金が実施されています。また、全 SWIFT の顧客送金の 30% 以上は gpi により実施され、既に 200 金融機関がこの取り組みに参加しています。2020 年末までには 10,000 金融機関からなる SWIFT 全体で利用されることになっています。

-####-

この取り組みに参加する銀行は次の通りです。National Australia Bank (ナショナル・オーストラリア銀行)、Australia and New Zealand Banking Group (オーストラリア・ニュージーランド銀行)、Bangkok Bank (バンコク銀行)、Bank of China (中国銀行)、China Construction Bank (中国建設銀行)、Commonwealth Bank (オーストラリア・コモンウェルス銀行)、DBS Bank (DBS 銀行)、Industrial and Commercial Bank of China (中国工商銀行)、KASIKORNBANK (カシコン銀行)、Siam Commercial Bank (サイアム商業銀行)、Standard Chartered Bank (スタンダードチャータード銀行)、United Overseas Bank (ユナイテッド・オーバーシーズ銀行)

各銀行は次のように述べています。

Mr. Luke Perkins, Head of Clearing Services Product, ANZ:

「実験によって我々は、外国送金が安定的にほぼリアルタイムで処理できることを確認出来ました。これは我々の顧客にとって単に迅速な送金の実施が出来るだけでなく、より重要なこととして、時差の障害を乗り越え送金がより柔軟に実施できることを意味します」

Mr. Sun Shangbin, Deputy General Manager of Clearing Dept, Bank of China:

「gpi と国内送金の組み合わせをもとに、SWIFT はグローバルバンクと密接に連携し外国送金のリアルタイム化を実現しました。このサービスによって外国送金の効率性の向上と顧客への大幅な品質向上が提供可能になります。当行はこの実験における仕向送金取組銀行の一つとして参加しましたが、今後より多くの銀行との連携を通じて外国送金の効率化とサービスレベルの向上に努めます」

Mr. Albert Naffah, General Manager, Payments Development & Strategy, Commonwealth Bank of Australia:

「今回の実験を通じて、我々のリアルタイム・コアバンキングシステム、SWIFT、NPP を結び付けたことにより、我々の顧客は外国送金を 60 秒以内に受け取ることが出来ました。オーストラリアにおけるリアルタイムコアバンキング基盤を最初に構築した銀行として、その活用により貿易決済の 24 時間 365 日対応の可能性を顧客に提供できます」

Mr. Atul Bhuchar, Group Payments Head, Global Transaction Services, DBS Bank:

「DBS は常に決済業務革新の先頭を走る銀行であり、今回の実験は外国送金リアルタイム化に向けて新たなマイルストーンを刻むことになりました。SWIFT との協業により、グローバル決済の枠組みをデザインすることに貢献でき、顧客への送金サービスの差別化を達成しました」

Mr. Peng Hua, Deputy General Manager, Operation Management Department, ICBC:

「ICBC は SWIFT の外国送金のリアルタイム化実験に参加したことをたいへん喜ばしく思っています。結果は極めて良好でこのプログラムが実現する際には実装する予定です。このサービスにより当行の顧客は、外国送金の更なる効率化、迅速化と受付時間の延長というメリットを享受できるでしょう」

Mr. Silawat Santivisut, Executive Vice president, KASIKORNBANK:

「より迅速な gpi 送金は、銀行とそれ以外のプレーヤーが競合して新たなチャンネルとスピード化を提供している外国送金分野に強い競争力をもたらすでしょう。国内決済ではリアルタイム送金は珍しいものではありませんが、今回の実験ではそれが外国送金分野にも適用できることが証明されたことで将来性が広がります」

Mrs. Apiphan Charoenanusorn, Senior Executive Vice President and Head of the Retail Lending Products, Retail Payments, and Facility Management sectors, Siam Commercial Bank:

「当行は広範囲にわたるデジタル化と金融サービスの革新を通じて銀行の価値の再構築をすることを優先課題と位置づけています。最新の取り組みとして当行は、SWIFT のパイロットに参加し、外国送金のリアルタイム化の実験を行いました。NPP 参加行との協業を通じ決済の迅速化が確認できたことは当行のデジタル決済のロードマップに合致したものと認識しています。新たなサービスは外国送金の効率性を大きく向上させ、ほぼリアルタイムで取引が完了します。このため我々の顧客へのサービスが大きく向上し、シンガポールやマレーシアで働く顧客の帰郷送金や教育費、電子商取引、中小企業の輸出取引等に大きなメリットを与えるでしょう」

Mr. Shirish Wadivkar, Managing Director & Global Head – Correspondent Banking Products, Standard Chartered Bank:

「リアルタイム国内送金ネットワークと SWIFT gpi との接続は驚くほど迅速な外国送金を実現し、我々の顧客全てに gpi 同様最大級の透明性、標準化、追跡可能性、豊富な情報量を提供します。リアルタイム化した外国送金は小売り、商業、企業および我々自身といったあらゆるセグメントにメリットをもたらします。gpi 創立メンバー行の一つである当行は、これは大いなる変革のスタートであると考えています。」

Mr. Frederick Chin, Managing Director and Head of Group Wholesale Banking, UOB:

「当行が SWIFT の gpi リアルタイム化のイニシアティブに参加したことは、我々の顧客への国境を超え安定し効率的で実効性のある金融サービス提供に注力することの証左です。決済までに要する時価が日単位から秒単位に高速化し、我々の顧客はキャッシュフロー管理の改善、運転資金の効率化と確実性が実現でき、幅広い外国送金業務と金融サービスへのニーズに対応できることが確認されました」

お問い合わせ:

ウェーバーシャンドウィック SWIFT 担当 トウ、原田、岩田

03-5427-7411

swiftjapan@webershandwick.com

SWIFT gpi について

SWIFT の グローバル・ペイメント・イノベーション (SWIFT gpi) は、外国送金の過去 30 年以上の歴史上最も大きな革新をもたらす新たな標準です。SWIFT gpi は、そのスピード、透明性、最終段階までの追跡機能によって外国送金に関する顧客の満足度を飛躍的に改善します。今日、日々数十万件の外交送金が gpi の標準に従って実施され、分単位あるいは秒単位のスピードで処理されています。

企業にとって、SWIFT gpi によって改善された決済サービスには以下の特徴があります。

- ・ より迅速な決済一時差がない地域の gpi メンバー間では同日資金化
- ・ 手数料の透明性
- ・ 最終段階までの追跡
- ・ 送金情報 (Remittance information) を最後まで保持

SWIFT gpi の取り組みでは、外国送金分野における銀行の事務コストを削減しつつイノベーションをもたらすよう、グローバル規模の銀行業界と Fintech コミュニティを含めた開発を行いました。2017 年 1 月にスタートして以来、gpi は 700 以上のカ国以上のルートにおける企業向け外国送金について劇的な改善をもたらしています。gpi の主な機能には拡張業務ルールと API 接続が可能な安全なクラウド式追跡用データベースが含まれています。SWIFT gpi により企業は国際展開を拡大し、サプライヤーとの良好な関係と財務上の効率化を実現することができます。

SWIFT gpi による送金の半数は 30 分以内の着金を可能にしており、ほぼ全ての送金は最低でも 24 時間以内に着金が可能になっています。より時間がかかる送金がある場合は特定の国や当局が要求する為替管理やコンプライアンス関連の要求がある場合のみとなっています。

270 を超える金融機関の採用に加えて、55 を超える世界の資金決済市場インフラが gpi 送金を決済しています。これにより、その国の中での決済も追跡が可能になります。外国送金は、多くの場合受取人の居住国に到着した後市場インフラを通じて最終的な決済がされるため、市場インフラの果たす役割は非常に重要となります。

国際銀行間通信協会 (SWIFT) について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかわる製品およびサービスを提供しています。

SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFT は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また SWIFT は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは www.swift.com をご覧いただくか [@swiftcommunit](https://twitter.com/swiftcommunit) および [LinkedIn:SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。